

宮城県を元気にする高知応援隊 活動報告書

1. 活動年月日 平成23年6月16日～20日迄	
2. 氏名・所属 岡内雅士・(株)第一コンサルタンツ	3. チーム名 気仙沼チ-ム
4. 活動内容について(レイアウト・文字数に制限はありません)	
<p>6月16日</p> <ul style="list-style-type: none"> ・寄贈する自動車の輸送班として、高知を出発。 <p>6月17日</p> <ul style="list-style-type: none"> ・午前中に仙台市に到着。 ・本隊と合流後、午後から被災地を視察。 (多賀城市、七ヶ浜町、塩竈市) ・宿泊地の野外活動センターで夕食後、明日の活動についてのミーティングに参加。 <p>6月18日</p> <ul style="list-style-type: none"> ・気仙沼高校でのボランティア活動に参加。 ・炊き出しでは、設営班を担当する。 ・よさこい鳴子踊り体験では、被災者といっしょに踊った。 <p>6月19日</p> <ul style="list-style-type: none"> ・多賀城市で清掃作業等のボランティア活動に参加。 ・午前中は、地区の公民館で清掃作業を行った。 ・午後から、個人宅で泥だし等の片付け作業を行った。 <p>6月20日</p> <ul style="list-style-type: none"> ・午前中に、松島海岸の観光地を視察。 ・午後、仙台駅を出発し、帰路に着く。 	
<p>5. ご自身の目的、目標達成状況についてご記入ください</p> <p>当初、今回の活動に参加したいと思った目的は、清掃作業等のボランティア活動に参加して、少しでも支援になればと思ったからである。その活動自体は1日だけであったため、出来れば、後数日は活動をしたかった。</p> <p>炊き出し等のボランティアについては、被災者のみなさんに喜んでいただき、達成感を感じた。</p>	
<p>6. 活動中の難しかった点、苦労した点についてご記入ください。</p> <p>高知応援隊の執行部のみなさんには大変お世話になりました。現地の状況が十分把握できないなか、計画や準備をしていただいたおかげで、個人的に苦労した事はありませんでした。</p>	

HPへの掲載について 可 ・ 否 どちらかに をして下さい 提出日 7/1(金)迄

宮城県を元気にする高知応援隊 活動報告書

1. 活動年月日 平成23年6月17日～20日迄	
2. 氏名・所属 原田基永 (株)第一コンサルタンツ	3. チーム名 南三陸町チーム(A班)
4. 活動内容について(レイアウト・文字数に制限はありません)	
【6月17日(金)】 移動：高知龍馬空港～東京～仙台 視察：仙台市～多賀城市～七ヶ浜～松島	
【6月18日(土)】 南三陸町志津川高校にて炊き出し、よさこい鳴子踊り	
【6月19日(日)】 多賀城市にて現地ボランティア活動 午前：大代公民館 体育館の清掃 午後：多賀城市宮内地区 民家の瓦礫撤去	
【6月20日(月)】 午前：松島観光視察 午後：仙台～東京～高知龍馬空港 帰高	
5. ご自身の目的、目標達成状況についてご記入ください	
・今回の高知応援隊の活動は、自己満足かもしれないが大成功だと思う。 ・現地にて体験したことは、今後起こりうる南海地震のために生かさなければならない。 ・自身も貴重な経験をさせていただき非常に満足している。また機会があれば参加したい。	
6. 活動中の難しかった点、苦労した点についてご記入ください。	
・刻々と変化する現地ニーズへの対応 ・失敗が許されない炊き出し	

HPへの掲載について 可 ・ 否 どちらかに をして下さい 提出日 7/1(金)迄

宮城県を元気にする高知応援隊 活動報告書

1. 活動年月日 平成23年6月17日～20日迄	
2. 氏名・所属 弘田 伸・(株)第一コンサルタンツ	3. チーム名 南三陸町チーム
4. 活動内容について(レイアウト・文字数に制限はありません) 6月17日(金) ・高知 仙台 被災地視察(仙台港・七ヶ浜町・塩竈市・東松島市) 6月18日(土) ・南三陸町(志津川高校)で炊き出し 6月19日(日) ・多賀城市でボランティア活動 午前:住居兼焼肉店の床下の泥だし 午後:民家の泥だし、片付け 6月20日(月) ・松島観光 仙台 高知	
5. ご自身の目的、目標達成状況についてご記入ください 目的 ・ボランティア活動・南海地震対策のため現地視察 達成状況 ・被災者からの依頼はまだ多くあり、1日だけのボランティア活動では満足出来なかった。 後、数日は活動したかった。 ・被災地を自分の目で見、肌で感じて、また、被災者の話を聞くことが出来、災害への心構え等学ぶ事が出来た。	
6. 活動中の難しかった点、苦労した点についてご記入ください。 ・被災者の方に話を聞くと、どこまで聞いて良いのか判断が難しかった。	

HPへの掲載について 可 ・ 否 どちらかに をして下さい 提出日 7/1(金)迄

宮城県を元気にする高知応援隊 活動報告書

1. 活動年月日 平成23年6月16日～20日迄	
2. 氏名・所属 山中 大・(株)第一コンサルタンツ	3. チーム名 南三陸町Aチーム
4. 活動内容について(レイアウト・文字数に制限はありません) 6月16日(木) ・被災地に寄贈する乗用車2台の陸送班として本隊より一日前に出発。 6月17日(金) ・多賀城市、七ヶ浜町をバスにて現地視察。 6月18日(土) ・南三陸町Aチーム調理班として炊き出し。揚げ物担当。 ・避難所の方々スポーツMAXの鈴木先生による体操、その後よさこい鳴子踊り。 6月19日(日) 多賀城市内でボランティア活動。 ・大代地区公民館の体育館にて床を清掃。 ・津波被害で浸水した個人宅にて家屋内の泥だし、清掃。 6月20日(月) ・午前、松島町にて遊覧船観光 ・午後、帰高	
5. ご自身の目的、目標達成状況についてご記入ください ・南三陸町にて炊き出しを行い、避難所の方々に「唐揚げがうまい」との声が聞こえた。自己満足かもしれないが、非常に達成感が得られた。 ・被災者との短い時間の中で貴重な話も聞いた。今後起こりうる南海大震災に生かせるようにしなければならない。	
6. 活動中の難しかった点、苦労した点についてご記入ください。 ・被災者の方に地震発生時の状況等を前向きに暮らしている方に聞いてよいのか分からず積極的に話ができなかった。(自分の気持ちが後ろ向きだったのかも) ・執行部の方々、約60名を1つの目標にまとめ上げる為にご尽力頂き大変ご苦労さまでした。	

HPへの掲載について 可 ・ 否 どちらかに をして下さい 提出日 7/1(金)迄

宮城県を元気にする高知応援隊 活動報告書

1. 活動年月日 平成23年6月16日～20日迄	
2. 氏名・所属 酒井 寿彦・(株)第一コンサルタンツ	3. チーム名 気仙沼チーム
4. 活動内容について(レイアウト・文字数に制限はありません) 私は寄贈車の輸送係りのため6月16～20日(車中泊含め4泊5日)の活動を行った。 寄贈車の輸送(16,17日) 第一コンサルタンツの社員6名で寄贈車を輸送するため、本隊より1日早い16日11時に高知を出発。瀬戸大橋から山陽・中国・名神・北陸・磐越・東北道を通り仙台南ICで高速を降りる。17日午後1時半に仙台駅で本隊と合流。 被災地の視察(17日) 仙台駅から多賀城市, 仙台港をバスの中から視察。七ヶ浜では被災地へ降りての視察。宿泊施設である松島町の野外活動センターに向けて, 道中バスの中から視察を行った。 炊き出し: 気仙沼チーム(18日) 気仙沼チームに参加し気仙沼高校にて炊き出し・よさこい鳴子踊り体験。 民間ボランティア(19日) 多賀城市の災害ボランティアセンターで民間ボランティアに参加。午前中は6名で住宅兼焼き肉店の床下に溜まった泥のかきだし作業。午後は約20名で民家の瓦礫撤去作業を行った。 自由行動: 松島観光視察(20日) 国宝の「瑞巖寺」や周りの需要文化財の見学。大半が修復作業中であった。遊覧船に乗り島巡り。午後12時より帰高に着いた。	

5. ご自身の目的、目標達成状況についてご記入ください

目的

ニュースや報道の情報だけでは分からないとがある。実際に自分の目で見て肌で感じる
ことが重要と思い、被災者の方に少しでも力になること。被災地から学び、高知県近海で
近く発生されると言われている東南海・南海大地震の対策に少しでも力になること。を目的
に参加しました。

目的達成状況

炊き出しやよさこい鳴子踊り体験、民間ボランティア共に、私が予想していた以上に被災
者の方に喜んでいただき達成感があった。また、被災地を直接自分の目で見て感じるこ
とができ非常にいい経験になった。この経験を、建設コンサルタントの一員として少
しでも東南海・南海大地震の対策に生かしていきたいと思えます。

当社の参加者のレポートは、第一コンサルタンツのホームページに掲載しています。是非、
そちらもご覧下さい。

<http://www.daiichi-c.co.jp/>

6. 活動中の難しかった点、苦労した点についてご記入ください。

私は役員でなかったためそんなに苦労はなかった。ただ、炊き出しの日に道路状況が悪
く気仙沼に着くのが遅れ、被災者の方と触れ合う時間があまりなかったことが少し残念に
思う。

HPへの掲載について 可 ・ 否 どちらかに をして下さい 提出日 7/1 (金)迄

宮城県を元気にする高知応援隊 活動報告書

1. 活動年月日 平成 23 年 6 月 17 日～平成 23 年 6 月 20 日迄	
2. 氏名・所属 西岡徹・(株)第一コンサルタンツ	3. チーム名 南三陸町チーム
4. 活動内容について 1日目 宮城へ出発 高知 (東京) 仙台 被災地視察 松島町(宿舎) 夕食は婦人会主催の交流会 2日目 元気を届けに 松島町 南三陸町・志津川高校 松島町(宿舎) 炊きだし(担当:飲み物提供), スポーツ教室・よさこい踊り参加 夕食は地元有志主催の交流会開催 3日目 ボランティア活動 松島町 多賀城市 仙台市内泊 午前 公民館内の体育館床清掃 午後 民家の泥だし・片付け 4日目 松島観光 仙台 松島町 仙台 (東京) 高知 松島では観光周遊船に乗船	
5. ご自身の目的、目標達成状況についてご記入ください 被災地の方々に元気になってもらう為のボランティア等への参加 被災地の状況を実際に見ること・感じることを、今後くとされる南海地震対策等の糧にする。 応援隊に参加中は自分なりに前向きな気持ちを維持できた。これは、被災地の方々からの感謝の気持ちを頂いたことがもの凄く大きい。目的に対する達成度としては、限られた時間の中ではそれなりにできたと思う。参加して本当に良かった！今回の経験を今後の自分に活かしたいと思います。ありがとうございました。	
6. 活動中の難しかった点、苦労した点についてご記入ください。 自身は難しい場面に直面しなかったが、被災地の情報の混乱による変更で段取りを任されている役員に方々は大変な思いをされたと思う。業務でも同じですが、何事も段取りで事の成功が決まる。改めて段取りの重要性を認識させられた。大変良い勉強になりました。	

HPへの掲載について 可 ・ 否 どちらかに をして下さい 提出日 7/1(金)迄

宮城県を元気にする高知応援隊 活動報告書

1. 活動年月日 平成23年6月16日～20日迄		
2. 氏名・所属 鍛冶清史・(株)第一コンサルタンツ	3. チーム名 気仙沼チーム	
4. 活動内容について(レイアウト・文字数に制限はありません)		
月日	活動内容	詳細
6月16日(木)	寄贈車の陸送	キューブ、ガイアを高知から仙台まで陸送する。私はガイアを担当。
6月17日(金)	現地視察	多賀城市、七が浜町の被災状況を視察。
6月18日(土)	炊き出し	南三陸町、気仙沼で炊き出し。私は気仙沼で資材の設置とお茶だしを主に担当。
6月19日(日)	ボランティア	多賀城市にてボランティアに参加。 午前：大代地区公民館の掃除 午後：被災した家屋の瓦礫撤去
6月20日(月)	帰路	-
5. ご自身の目的、目標達成状況についてご記入ください		
<p>以前の会社のお客様が宮城県にあり、しばらく音信不通の状態だった点、親戚が郡山に住んでおり一時は避難していた点、神奈川や千葉の知人がガソリンや水が入手できないなど混乱していた点で今回の震災は身近に感じていた。自分にも何か出来ないかと義援金には早くから賛同していたが、やはり被災者に直接届けられる支援が出来ないかと今回の企画に手を挙げた。</p> <p>地元の方々の笑顔を身近に見ることが出来た点、被災した町並みや津波の恐ろしさを肌で感じる事が出来た点は大変有意義であった。</p> <p>今後は雇用を生み出す事に重点が置かれていくと思うが、まだまだ泥だしや瓦礫撤去は必要な状況のため、自分に出来るボランティアは継続したいと思う。</p>		
6. 活動中の難しかった点、苦労した点についてご記入ください。		
<p>ボランティアへの参加が初めてのため全てに苦労した。特に苦労した点は下記の通り。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 20時間、1,200kmに及ぶ寄贈車の陸送 		

HPへの掲載について 可 ・ 否 どちらかに をして下さい 提出日 7/1(金)迄

宮城県を元気にする高知応援隊 活動報告書

1. 活動年月日 平成23年6月17日～18日迄	
2. 氏名・所属 矢田康久・(株)第一コンサルタンツ	3. チーム名 南三陸チーム
活動内容について（レイアウト・文字数に制限はありません） 私は南三陸チームの一員として、南三陸町志津川高校の避難所でボランティア活動に参加しました。避難所へ向かう途中、バスの車窓越しに南三陸の津波による被害の大きさに無力感を感じずにはいられませんでした。 避難所に到着すると土佐赤牛のカレーやナスなどの高知の特産品を用いた炊き出しの準備作業に手一杯となり、そうした感傷に浸る間もなく時間ばかりが過ぎて行きました。応援隊メンバーの頑張りの甲斐もあって炊き出しは大成功だったと私は感じました。“おいしかったよ”と声を掛けて頂けるだけで、何故だか救われたような気持ちになったことを覚えています。 午後からは少し時間が空いたので、志津川高校から少し町に降りて津波の痕跡や被災状況などを見ました。南三陸町のホームページには、宮城県沖地震が今後30年の間に発生する確率が99%とされており、1960年のチリ沖地震でも多くの死者が出ています。地震に対する住民意識は恐らく高知県よりも遙かに高かったと推測できます。ボランティア活動を通じてこのような体験が出来たことを真摯に受け止め、今後活かさなければならぬと改めて感じています。 最後に、体育館で避難所の方々と体操とよさこい踊りを楽しみました。事ある毎に皆さんが口にされるのですが、元気にするつもりが逆に元気を頂くというのは本当に的を得た表現だと感じました。今後も何らかの形で東北の復興の手助けができれば幸いです。	
4. ご自身の目的、目標達成状況についてご記入ください 東北地震による被災地を実際に訪れることで、これまでとは異なる価値観や人生観が見出せるのではないかと、東北の復興に自分自身何をすべきかを見出せるのではないかと考えて今回の活動に参加しました。目的・目標を達成できたかどうかは自分でも分かりませんが意識改革は出来たと思っています。	
5. 活動中の難しかった点、苦労した点についてご記入ください。 私自身は、応援隊の足手まといにならないようにとハラハラしておりましたが、団長をはじめ応援隊運営の中心を担って頂いた方々は本当に大変だったのだろうと思います。本当にお疲れ様でした。非常に感謝しています。	

HPへの掲載について 可 ・ 否 どちらかに をして下さい 提出日 7/1(金)迄